

質問に対する回答について
工事名) 秋田自動車道 横手工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	特記仕様書P40～43の道路掘削における土作業について、掘削土を本線外盛土場へ運搬、敷均し、締固め、整形及び仕上げを行う箇所が複数存在しますが、本線外盛土場の造成に使用されるのか、それとも残土として処分されるのかの判別がつきません。造成に使用される掘削土はどこの掘削による土砂でしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 なお、前郷地区本線外盛土場の施工は特記仕様書29-4(1)に記載のとおりです。
2	特記仕様書 P40～48 の道路掘削の土砂 A1、A2、構造物掘削の普通部 A1 において、トンネル坑口部における土質区分についてご教示願います。	関連する設計図書を確認の上、貴社にて算出してください。
3	設計図(本線(上り線))39/120 より、STA. 192+80.000 において路体の断面積がございませんが、この箇所における路体の断面積は 0.1m ³ ではないでしょうか。ご教示願います。	設計図 (1/11) 本線 (上り線) 39/120 に示す STA. 192+80.000 の盛土断面数量のうち、路体は 0.1m ² となります。 交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。
4	特記仕様書 P41、42 の道路掘削の区分内容の記載において、有用表土を本線部における盛土に使用されていますが、使用される有用表土の数量が不明です。掘削される表土の内訳をご教示願います。	掘削される表土の内訳は、各単価項目道路掘削 土砂 (表土) A1～A6 の設計数量です。 有用表土として使用する数量は、特記仕様書に記載の各盛土先を参照の上、貴社にて算出してください。

5	<p>特記仕様書 P45 の 29-6 盛土工において軟岩 A、硬岩 A、トンネルずり(第三紀の C 地質及び D 地質)の発生土を荷受けしますが、これらの土質区分における発生土は掘削後の土砂として土砂 F として盛土施工されるのでしょうか。それとも土質区分は変わらずに盛土施工されるのでしょうか。どちらと理解すればよろしいのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>関連工事で発生した掘削土・トンネルずりを直接前郷地区本線外盛土場へ運搬することを想定しております。そのため、盛土工における土質区分については特記仕様書 29-6 (1) に示すとおりの区分とお考えください。</p>
6	<p>特記仕様書 46 の 29-7 構造物掘削において、構造物掘削 特殊部では一部の仮設材でリース品が使用されています。</p> <p>①このリース品について、リース期間をそれぞれご教示願います。</p> <p>②リース品は引き抜き後、発生材仮置きヤードに運搬されますか。ご教示願います。</p> <p>③設計図(中里橋) 17/79、38/79、設計図(新町橋下部工) 42/63、57/63 の数量表において、頭部連結材としてリース品の溝形鋼が記載されていますが、この鋼材は市場単価にリース品における単価が記載されていません。リース品ではなく購入単価と思慮致しますが、いかがでしょうか。購入の場合は中古品かどうかを、賃料の場合は単価について、ご教示願います。</p>	<p>①貴社の施工計画により必要な期間を計上してください。</p> <p>②そのとおりです。</p> <p>③単価項目 構造物掘削特殊部 N 1、N 2、S 3、S 4 で使用する頭部連結材については購入品(中古品)となります。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>

7	<p>特記仕様書 46 の 29-7 構造物掘削において、①特『切断後に存置、一部発生材仮置きヤードへの運搬』と記載されていますが、これは切断により発生した鋼矢板はスクラップ 処分せずに仮置きヤードへ運搬し、残された鋼矢板は引き抜かずに存置すると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p> <p>②『PC 鋼材によるアンカー工の緊張定着・撤去処分』の記載がございましたが、撤去されたアンカー工の材料はスクラップ 処分されると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>①そのとおりです。</p> <p>②令和 6 年 1 0 月 9 日掲載「質問に対する回答について④」質問番号 1 3 に対する回答のとおりです。</p>
8	<p>設計図(中里橋)36/79～38/79 において、鋼矢板の施工は CASE-1～CASE-6 までございますが、設計図(中里橋)42/79～45/79 の参考図では CASE-6 についての詳細な施工計画が不明の状況です。当初設計で考慮されているクレーンは CASE-1～CASE-5 までと同じ 120t 吊オールテールクレーンとなるでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
9	<p>設計図(新町橋下部工)25/63、31/63、42/6 において、リース材と購入材を継手して施工する箇所がございます。特記仕様書よりこの継手された鋼矢板は引き抜きされると考えられますが、引き抜きされた購入材の鋼矢板はスクラップ 処分されるのでしょうか。それとも、発生材仮置きヤードに運搬されるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>特記仕様書 2 9 - 7 (1) に記載のとおり、引き抜かれた鋼矢板はすべて発生材仮置きヤードへ運搬するものとしてお考えください。</p>
1 0	<p>特記仕様書 48 の 29-7 構造物掘削の特殊部 S4 の記載にあります中古品の鋼矢板は、存置せずに発生材仮置きヤードに運搬されるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p>

1 1	<p>特記仕様書 48 の 29-7 構造物掘削の特殊部の記載にあります鋼矢板Ⅳは、中古品のみの記載となっておりますが、設計図(溝渠工(函渠工・管渠工))11/48 の土留工数量表では 7.001t の鋼矢板Ⅳがリス材と記載されています。どちらが正でしょうか。ご教示願います。</p>	<p>設計図 (2/11) 溝渠工 (函渠工・管渠工) 11/48 に示す鋼矢板はすべて存置するため、中古品となります。交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
1 2	<p>設計図【附帯工】 2/109 において、TypeA (F) の残土は※1) より本線(工事起点～大沢トンネル起点側坑口)に運搬されますが、設計図【附帯工】 1/100 におけるコンクリートブロック積工④Rw-Cb (W)-1.80～2.87-238.50 (STA. 11+13.70～STA. 13+45.00) における残土も本線(工事起点～大沢トンネル起点側坑口)に運搬されると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>設計図 (8/11) 附帯工 1/109 に示す、①Rw-Cb (W)-1.80～1.80-163.00 (STA. 172+20.00～STA. 173+83.00) と②Rw-Cb (W)-0.30～1.80-47.52 (STA. 173+85.28～STA. 174+30.10) については本線 (工事起点～大沢トンネル起点側坑口)、④Rw-Cb (W)-1.80～2.87-238.50 (STA. 11+13.70～STA. 13+45.00) については本線 (柳田橋 A 2 橋台～工事終点) へ残土運搬するものとお考えください。交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
1 3	<p>設計図【附帯工】 2/109 において、TypeB (F) の残土は※2) より本線(柳田橋 A2 橋台～工事終点)に運搬されますが、設計図【附帯工】 80/109 において残土運搬先が前郷地区本線外盛土場と記載されています。どちらが正でしょうか。ご教示願います。</p>	<p>前郷地区本線外盛土場での単価項目基礎工 コンクリート基礎工 B (F) 施工による残土の運搬先は、すべて前郷地区本線外盛土場となります。</p>

1 4	<p>設計図(附帯工)89/109、91/109、93/109、94/109、95/109、96/109において、①構造物掘削の残土は前郷地区本線外盛土場に運搬されるとあります。この残土の運搬に関する費用は基礎工 コンクリート基礎工 C(F)にて見込まれていると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p> <p>②前郷地区本線外盛土場に運搬された残土は盛土として計上されていますでしょうか。それとも捨土として計上されていますでしょうか。ご教示願います。また捨土の場合、敷均しは行われますでしょうか。こちらも併せてご教示願います。</p>	<p>①そのとおりです。</p> <p>②掘削残土は、前郷地区本線外盛土場への運搬、敷均し、締固め、整形及び仕上げを実施し、盛土場の造成を行います。</p>
1 5	<p>設計図(附帯工)53/109 のコンクリート基礎工 D(F)数量表において、基礎材が10m当たり 8.00m³ と記載されています。一方で、設計図より計算すると幅 0.8m×厚さ 0.1m×長さ10m=0.80m³ となります。どちらが正でしょうか。ご教示願います。</p>	<p>設計図(8/11) 附帯工 53/109 に示すコンクリート基礎工 D (F) の10m当たり基礎材数量は0.80m³ になります。交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
1 6	<p>設計図(附帯工)52/109、61/109、67/109、73/109より、切土補強土工における削孔長は異形棒鋼の長さから頭部処理を行う 100mm を引いた数量となっています。設計図(附帯工)61/109、73/109では吹付のり枠の厚さ 300mm も削孔長に含まれていますが、枠の厚さは考慮しないと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>切土補強土工における削孔長は、吹付のり枠厚さと頭部処理延長を除いた延長になります。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>

17	<p>設計図(本線外盛土場)64/76 のかご 枠工 0.5m・1.0m 集計表において、番 号5の位置がN0.1+29.18~N0.2+8.00 とありますが、断面は溝渠工(2)とな っております。断面が溝渠工(2)とな る箇所は、設計図(本線外盛土 場)65/76 に記載された N0.1+25.686 と思慮致しますが、いかがでしょう か。ご教示願います。</p>	<p>設計図(本線外盛土場)64/76 前郷地区 本線外盛土場かご枠工詳細図(1)の集 計表に示す番号5(溝渠工(2))の箇所 はNo.1+25.686になります。 交付図書の一部に誤りがありましたの で後日訂正いたします。</p>
18	<p>設計図(附帯工)より、補強土壁の基盤 排水溝に使用される集水管は、有孔管 $\phi=150\text{mm}$、120° と記載されていま すが、120° の有孔管の市販単価がござ いません。ご教示願います。</p>	<p>積算に関する内容にはお答えできませ ん。</p>
19	<p>数量明細表の P7~P9 に記載の用排水 管 P(Po-B)・$\phi 0.40$(Sd-B)、P(Po-B)・ $\phi 0.50$(Sd-B)、P(Po-B)・$\phi 0.60$(Sd- B) について、掘削深さが不明です。 掘削深さや埋戻しの数量について、ご 教示願います。</p>	<p>用排水構造物標準設計図集及び設計図 (参考図)の排水系統図を参照の上、 貴社にて算出してください。</p>
20	<p>特記仕様書 P56 の 29-15-2 集水ます に記載の集水ます TypeB Dc[^](D)- $0.60 \cdot 0.60 \cdot 0.80$(UJ)について、掘削・ 埋戻し量が不明です。掘削深さや埋戻 しの数量について、ご教示願います。</p>	<p>関連する設計図書を参照の上、貴社に て算出してください。</p>

2 1	<p>設計図(本線(上り線))65/120 おいて、</p> <p>①集水ますの寸法表及び数量表が記載されています。寸法表よりふたの幅 f は a の長さに $70 \times 2 = 140\text{mm}$ 足した長さとなっていますが、それは $Dc^{\wedge}(D)$ の落しふたのときの寸法であり、Dc^{\wedge} のときはかさねふたとなっており、本体の幅 $b2$ とふたの幅 f が同じ長さになると考えられます。寸法について、ご教示願います。</p> <p>②コンクリート、型わくの数量が本体とふたの合計数量と考えられます。本体とふたのそれぞれの重量について、ご教示願います。</p> <p>③鉄筋の数量が記載されていますが、この数量には足掛け金物の数量は含まれていませんでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>①設計図 (1/11) 本線 (上り線) 65/120 の集水ます寸法表及び数量表の f について、正しくは下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • $Dc^{\wedge}-0.60-0.60-1.10$ 1000 • $Dc^{\wedge}-0.60-0.60-1.60$ 1000 • $Dc^{\wedge}-0.80-0.80-1.50$ 1200 • $Dc^{\wedge}-0.80-0.80-1.90$ 1300 <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p> <p>②閲覧資料をご確認ください。</p> <p>③鉄筋数量表には足掛け金物の数量を含みます。詳細は閲覧資料をご確認ください。</p>
2 2	<p>設計図(本線(上り線))66/120 において、$Dc-S-a-b-c$ の数量表がございます。これらの数量に集水ますのふたに関する数量は含まれていないでしょうか。含まれている場合は、ふたの数量や規格について、ご教示願います。</p>	<p>設計図 (本線 (上り線)) 66/120 用排水工詳細図 (2) の $Dc-S-a-b-c$ の数量表に示す、寸法 $h1+c$ の高さまで本工事で施工を行い、その他については関連工事で施工を行います。</p>
2 3	<p>設計図(本線(上り線))79/120 において、$Dc^{\wedge}(SP)-0.80-3.05-1.20(F)$ の数量表が記載されています。数量表の中居縞鋼板と等辺山形鋼の数量が記載されていますが、それぞれ厚さなどの詳細な規格の記載がございません。また等辺山形鋼については図面に見当たりません。使用される鋼材の規格について、ご教示願います。</p>	<p>縞鋼板と等辺山形鋼の規格については、閲覧資料をご確認ください。</p>

24	<p>設計図(本線(上り線))78/120 において、De[^](SP)-1.55-3.05-1.20(F)の数量表が記載されています。数量表の中居縞鋼板と等辺山形鋼の数量が記載されていますが、それぞれ厚さなどの詳細な規格の記載がございません。また等辺山形鋼については図面に見当たりません。使用される鋼材の規格についてご教示願います。</p>	<p>質問番号23の回答のとおりです。</p>
25	<p>特記仕様書 P58 の 29-16 の継目工に記載のIV-A、IV-Bに関して、1m当りに要する目地板の面積と除去される目地板の面積について、ご教示願います。</p>	<p>関連する設計図書を参照の上、貴社にて算出してください。</p>
26	<p>数量明細表 P12 に記載の遠心力鉄筋コンクリート管は、冬期に施工されるため、寒中養生費の計上が必要になると考えられますが、この時の気積の数量について、ご教示願います。</p>	<p>令和6年10月31日掲載「質問に対する回答について⑱」質問番号24に対する回答のとおりです。</p>
27	<p>特記仕様書 P58 の 29-17 基礎杭7)の記載において、①掘削残土は前郷地区本線外盛土場、美砂古沼本線外盛土場へ運搬、敷均し、転圧を行います。設計図【新町橋】1/63 の下部工数量総括表にて基礎杭は※3)残土運搬先：美砂古沼本線外盛土場、新町橋 A1 橋台埋戻し部、本線部(上部路体、下部路体)と記載されています。どちらが正でしょうか。ご教示願います。</p> <p>②基礎杭施工の掘削後に埋戻しの費用は見込まれていますでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>①単価項目 基礎杭 場所打ちコンクリート杭 機械掘削の掘削残土は、特記仕様書 29-17 に記載のとおり、前郷地区本線外盛土場、美砂古沼本線外盛土場への運搬となります。</p> <p>交付資料の一部に誤りがありましたので後日訂正します。</p> <p>②埋戻しの費用は見込んでおりません。</p>

28	<p>数量明細表 P13 の型わくに記載において、本線外盛土場にて 5.5m³ の型わく D の施工が見込まれていますが、設計図(本線外盛土場)において該当する型わくが見当たりません。型わく D はどの構造物にて見込まれていますでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>設計図 (7/11) 本線 (上り線) 53/76、55/76 に記載の前郷地区本線外盛土場の横断溝渠の施工に伴う型わくになります。</p>
29	<p>数量明細表 P14 の鉄筋の記載において、溝渠工(函渠工・管渠工)の施工数量は 32.120t とありますが、設計図より数量を確認したところ、31.221t となりました。どちらが正でしょうか。ご教示願います。</p>	<p>数量明細表に示す、単価項目 鉄筋 A の溝渠工における数量は、設計図面 (溝渠工 (函渠工・管渠工)) 1/48、15/48、31/48、35/48、39/48、43/48 に記載の数量表、並びに 47/48 に記載の数量表の合計であり、32.120t となります。なお、各図面の隔壁工数量表に記載の鉄筋数量は特記仕様書 29-38 (6) に記載のとおり、単価項目 隔壁工 A に含まれます。</p>
30	<p>特記仕様書 P60 の 29-20 鉄筋工の記載において、鉄筋 A(1)における使用鉄筋は SD490 となっています。設計図(新町橋)より A(1)では D16~D25 の鉄筋が使用されますが、これらの鉄筋には市販単価がございません。単価のご公表は予定されていますでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>材料単価の公表はいたしません。</p>
31	<p>特記仕様書 P60 の 29-20 鉄筋工の記載において、鉄筋 A(E)、C(E)、P(E) はポキ樹脂塗装鉄筋が使用されますが、塗装工場から施工現場への運搬費は見込まれていますでしょうか。ご教示願います。また、見込まれている場合、運搬距離は何 km で見込まれていますでしょうか。併せてご教示願います。</p>	<p>令和 6 年 1 月 6 日掲載「質問に対する回答について⑱」質問番号 1 に対する回答のとおりです。</p>

3 2	設計図(新町橋下部工)19/63、56/63において、フレア-詳細図の記載がございますが、鉄筋表のフレア-溶接個所数の記載がございません。フレア-溶接の費用は見込まれていますでしょうか。ご教示願います。	フレア-溶接の費用は、単価項目 鉄筋 (Y) に計上しています。
3 3	数量明細書 P14 の橋梁、高架部管路工 B1-VEφ54(2)について、取付金具は計上されていますでしょうか。計上されている場合は、1m 当りの使用量についても併せてご教示願います。	設計図 (5/11) 中里橋 69/79 のとおり、高架部管路については壁高欄埋め込みの為、取付金具はありません。
3 4	数量明細書 P22 の縁石工 アスファルト縁石について、使用されるアスファルト材の詳細規格について、ご教示願います。	令和6年10月28日掲載「質問に対する回答について⑪」質問番号17に対する回答のとおりです。
3 5	特記仕様書 P76 の 29-31 踏掛版工において、 ①掘削残土に関する費用が踏掛版工に含まれるとありますが、今回踏掛版工の施工箇所は裏込め工が行われます。掘削は発生しないと考えられますが、どちらが正でしょうか。ご教示願います。 ②掘削が発生する場合、発生する掘削土の数量が不明です。運搬される掘削土数量について、ご教示願います。	令和6年11月6日掲載「質問に対する回答について⑱」質問番号17に対する回答のとおりです。
3 6	特記仕様書 P76 の 29-32 構造物等取壊し工のアスファルト舗装版取壊しについて、既設アスファルト舗装の切断と記載されていますが、切断長が不明です。ご教示願います。	令和6年11月6日掲載「質問に対する回答について⑱」質問番号18に対する回答のとおりです。

37	<p>特記仕様書 P77 の 29-33 交通規制工において、交通規制機材の中に回転灯の記載がございますが、設計図(雑工)12/12 の交通規制図では回転灯の記載はなく、自然光警告灯の記載がございます。この自然光警告灯が回転灯と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p>
38	<p>設計図(中里橋)41/79において、混合処理の杭径はφ1600mmです。数量表によると、打設長 9.0m や 7.0m の改良工がございますが、土木工事積算基準より杭径 1600mm の深層混合処理では 10m 以下の施工は標準外となります。今回標準外となる A1 橋台 9 番(打設長 9.0m)、A2 橋台 6 番(打設長 9.0m)、7 番(打設長 7.0m)についての歩掛をご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
39	<p>特記仕様書 P81 の 29-36 の軟弱地盤改良工における軟弱地盤改良工 改良材 B の材料のロス率について、ご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
40	<p>特記仕様書 P96 の 29-45 軽量盛土工における軽量盛土工 気泡混合軽量盛土の圧送距離について、ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>

4 1	<p>特記仕様書 P100 の 29-47 仮設物設置・撤去工において、仮設落石防護柵で使用される材料は、「ガードレールと大型土のうを除きすべてリース品」とありますが、「撤去後は発生材仮置きヤード（虫内地区仮置き場）へ運搬し、仮置きする」という記載がございます。リース品の往復の運搬費と虫内地区仮置き場への運搬費の両方が必要と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>仮設落石防護柵の現地搬入のための運搬と仮設落石防護柵撤去後の発生材仮置きヤードへの運搬、その後リース品の返却による運搬を行います。よって、上記運搬に係る運搬費を計上してください。</p>
4 2	<p>特記仕様書 P23、P24 の 14-4(2)より、工事用車両泥落とし装置 A-1 は 4 箇所を設置されるため、3 回の移設が必要であり、運搬費も見込まれていると考えられます。3 回の移設に関して移設距離、並びに泥落とし装置の重量についてご教示願います。</p>	<p>移設距離については、特記仕様書 1 4 - 4 に示すそれぞれの工事用車両泥落とし装置の使用箇所による移設に対し、特記仕様書 1 4 - 1 を参照の上算出してください。</p> <p>泥落とし装置の重量について、割掛対象表参考内訳書に関する質問の為、お答えできません。</p>

4 3	<p>設計図(本線外盛土場)より、</p> <p>①前郷地区本線外盛土場は、盛土、覆土、築堤盛土、重金属含有土、保護砂、置換工(軟岩)で構成されています。保護砂は盛土工 A2 にて施工され、重金属含有土も重金属が含まれる掘削土より施工されていますが、特記仕様書において、覆土、築堤盛土、置換工(軟岩)に関する記載がございません。覆土、築堤盛土、置換工(軟岩)に関しては、盛土と同じように前郷地区本線外盛土場に運搬された掘削土を利用していると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p> <p>②前郷地区本線外盛土場へ運搬される掘削土が軟岩の場合、全て置換工(軟岩)として利用されますか。それとも置換工(軟岩)だけでなく盛土や覆土、築堤盛土としても利用されますか。ご教示願います。</p>	<p>①そのとおりです。</p> <p>②貴社の想定する土配計画により算出してください。</p>
4 4	<p>設計図(附帯工)105/109 の数量表において、昇降用設備設置工の数量が記載されており、昇降用設備の材料についても設計図(附帯工)106/109、109/109 において内訳が記載されています。これらの材料について単価のご公表はございますか。ご教示願います。また、単価のご公表が無い場合、材料は製作と見積のどちらで単価を見込まれているかをご教示願います。</p>	<p>材料公表はいたしません。</p> <p>製作・見積については積算に関する内容になりますのでお答えできません。</p>

45	<p>設計図【附带工】105/109より、地すべり抑制工、集水ボーリング工、排水ボーリング工におけるボーリング工の削孔径はそれぞれφ86mmとφ146mmですが、これらの削孔径は土木工事積算基準の水抜きボーリング工では標準外の規格となります。準用されている歩掛はございますか。ご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
46	<p>特記仕様書 P90 の 29-42 に記載の調査ボーリング工について、①調査ボーリング工は1方と2方のどちらで作業されますか。ご教示願います。 ②ボーリングマシンの規格や削孔材料や使用機械の単価についてご公表はございますか。ご教示願います。</p>	<p>①貴社の施工計画に基づきお考えください。 ②材料公表はいたしません。</p>
47	<p>特記仕様書 P.24、16-1 土木工事積算基準書 (P.2-27) の「5-2支給製品費」において、「(2) 高速道路会社が保有している製品を支給又は貸与する場合で、新品の場合は全額を支給製品費として取扱う。ただし、中古製品については、新品価格の70%をもって支給製品費とする。」と記載されていますが、特記仕様書P.24「16-1 貸与品」にある仮設防護柵 (H鋼置き基礎式) は支給製品と考え、その費用の1/2が間接工事費算定の対象 (一般管理費は除く) と考えてよいかご教示ください。支給製品の場合は、支給製品費をご教示ください。</p>	<p>特記仕様書 16-1 に示す仮設防護柵は、中古品になります。 支給製品費は、積算に関する内容になりますのでお答えできません。</p>

48	<p>特記仕様書P58の29-17基礎杭の記載に、掘削残土は前郷地区本線外盛土場、美砂古沼本線外盛土場へ運搬、敷均し、転圧を行うものとすると思いますが、中里橋における残土運搬先はA1橋台が前郷地区本線外盛土場、A2橋台が美砂古沼本線外盛土場と理解すればよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
49	<p>設計図付帯工(105~109/109)において、地すべり抑制工 集水井工は、ライナープレート建込みにて施工されますが、土木工事積算基準よりライナープレート建込みの標準歩掛では、材料費を含む歩掛内全ての費用に1%の諸雑費が掛かります。今回バッチカルステイパーを含む集水井補強材にも諸雑費は掛かりますでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
50	<p>設計図 新町橋下部工(1/63)において、残土運搬先に本線部(上部路体、下部路体)がございますが、具体的な施工位置について、ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
51	<p>特記仕様書P40の29-4道路掘削以降に記載の各種別における掘削に伴う残土運搬において、本線外盛土場に運搬される残土がございます。一箇所の掘削場所から2ヶ所の本線外盛土場(前郷地区本線外盛土場、美砂古沼本線外盛土場)へ運搬される場合、運搬量はどのように配分されていますか。見積条件等について、ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>

5 2	<p>特記仕様書 P9 において、自工区外盛土場(越中畑盛土場)の記載がございますが、今回こちらの盛土場にはどの施工箇所における掘削土が運搬されるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>特記仕様書 29-24 (1) に記載のとおり、トンネル掘削にて生じたトンネルずりを単価項目ずり処理工 C 1 (Y) にて運搬します。</p>
5 3	<p>金抜設計書の P103 に記載の用排水管 P(Po-B)・Φ0.40(Sd-B)について、配布頂いた資料から掘削深度の見積条件が不明となっております。当初設計で考慮されております掘削深度をご教示願います。</p>	<p>質問番号 19 に対する回答のとおりです。</p>
5 4	<p>金抜設計書の P104 に記載の用排水管 P(Po-B)・Φ0.50(Sd-B)について、配布頂いた資料から掘削深度の見積条件が不明となっております。当初設計で考慮されております掘削深度をご教示願います。</p>	<p>質問番号 19 に対する回答のとおりです。</p>
5 5	<p>数量明細表 P13 の型わく C に記載数量について、設計図(大沢トンネル)52/69 の坑門工数量表に記載の明り巻工(終点側)の型わく C の数量「999.5m²」のうち「465.2m²」は内型枠だと思われませんが、見積条件として、下記の内どのように考慮されているのかご教示願います。</p> <p>①トンネル本坑とは別のセトルで施工し、分解組立を計上する。</p> <p>②トンネル本坑と同一のセトルで施工し、分解組立は計上しない。</p> <p>③その他※その他の場合は詳細な見積条件のご提示をお願い致します。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>

5 6	<p>数量明細表 P13 の型わく C に記載数量に関連して、設計図(大沢トンネル)52/69、A-A 断面、明り巻工(終点側)に記載の「すり付け部 L=8.0m」と「持込み雪対策拡幅部 L=10.0m」の型わく周長について、ご教示願います。</p>	<p>関連する設計図書より、貴社にて算出してください。</p>
5 7	<p>数量明細表 P13 の型わく C に記載数量について、設計図(横手トンネル)42/57 の坑門工数量表に記載の明り巻工(終点側)の型わく C の数量「987.7m²」のうち「453.4m²」は内型枠だと思われませんが、見積条件として、下記の内どのように考慮されているのかご教示願います。</p> <p>①トンネル本坑とは別のセトルで施工し、分解組立を計上する。</p> <p>②トンネル本坑と同一のセトルで施工し、分解組立は計上しない。</p> <p>③その他※その他の場合は詳細な見積条件のご提示をお願い致します。</p>	<p>質問番号 5 5 に対する回答のとおりです。</p>
5 8	<p>数量明細表 P13 の型わく C に記載数量に関連して、設計図(大沢トンネル)42/57、A-A 断面、明り巻工(終点側)に記載の「すり付け部 L=8.0m」と「持込み雪対策拡幅部 L=10.0m」の型わく周長について、ご教示願います。</p>	<p>質問番号 5 6 に対する回答のとおりです。</p>
5 9	<p>割掛対照表に記載のトンネル呼吸用防護具費 1 式について、下記のどちらで考慮頂いていますでしょうか。ご教示願います。</p> <p>①2 本のトンネルそれぞれで対象金額を算出しそれぞれで計上</p> <p>②2 本のトンネルの対象金額を合算し、1 式にて計上</p>	<p>割掛対象表参考内訳書に関する質問にはお答えできません。</p>

60	<p>割掛対象表に記載の基準試験費について、本工事はトシ2本ありますが、試験を実施するのは1回のみという理解でよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>割掛対象表参考内訳書及び積算に関する質問にはお答えできません。</p>
61	<p>割掛対象表に記載の吹付設備費について、歩掛には鋼材の計上がございますが、該当の仮設材運搬費は考慮頂いているという理解でよろしいでしょうか。ご教示願います。考慮頂いている場合は、どの項目にて計上頂いているのかも併せてご教示願います。</p>	<p>割掛対象表参考内訳書及び積算に関する質問にはお答えできません。</p>
62	<p>割掛対象表に記載の積卸し設備費について、設備設置期間として、掘削完了から覆工期間1ヶ月として考慮頂いていると思慮致しますが、土木設計数量算出要領を確認すると、掘削完了から覆工完了までは2ヶ月が標準のような記載がございます。本工事では、掘削完了から覆工完了は1ヶ月を標準として見積を行えばよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>割掛対象表参考内訳書及び積算に関する質問にはお答えできません。</p>